

令和8年度 沖縄県中学校総合体育大会 地域クラブ活動の参加資格の特例 各競技大会参加細則

【共通事項】

- ◎ 同一団体から複数チームの参加はできません。※柔道（女子）は除く
- ◎ 同一人物が複数チームで参加したり、複数競技に参加することはできません。
- ◎ 地区大会・県大会申込から九州大会・全国大会まで、出場団体の変更はできません。
- ◎ 複数チームの監督・コーチ登録はできません。
- ◎ 関係中学校（校長）や市町村教育委員会との連携を密にして取り組むようお願いします。

競技名	地域クラブ活動の参加 ○参加を認める △条件付きで認める		団体（リレー）出場の条件	協会・連盟登録の義務		指導者の公認資格	その他の条件	
	個人	団体		個人	団体			
1	陸上	○	△	リレーは、「地域展開モデル地区や自治体主導で地域展開を進めるために発足した地域クラブ活動」、または、「地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動」で参加することができる。	(公財) 日本陸上競技連盟への登録	(公財) 日本陸上競技連盟への団体登録	JASP公認指導者資格 ※令和8年度中資格取得見込みも可	●指定大会(通信陸上、県陸上)は同じ所属から出場すること。また、複数の種目(リレーを含む)に異なる所属から出場することはできない。 ●地区大会に別競技で出場し、夏季大会への代表権を獲得していない場合にエントリーを認める。
	駅伝	△	△	※詳細は、下記の「補足説明」を参照	(公財) 日本陸上競技連盟への登録			●地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチームとする。 ●複数の所属から参加することはできない。 ●複数の中学校から選手を選抜等によって編成されたチームは除く。または、登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限り、地域クラブ活動の所属で参加することができる。 ※詳細は、下記の「補足説明」を参照
2	水泳	○	○			(公財) 日本水泳連盟への団体登録		●別の競技で地区大会に出場し、県大会への代表権を獲得していない場合でも、エントリーは認めない。 ●在籍中学校もしくは地域クラブ活動のどちらから参加するかは、生徒(選手)および保護者の意向を尊重すること。
3	バスケットボール	△	△	「地域展開モデル地区や自治体主導で地域展開を進めるために設置されている」「地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動」ただし、対象の地域クラブ活動は単独又は複数の中学校単位で編成されており、日常的に活動が持続されている場合に限る。なお、複数の中学校から選手を選抜し、編成された地域クラブ活動の出場は認めない。 ※詳細は、下記の「補足説明」を参照	JBAへの個人登録	JBAへのチーム登録	JBA公認コーチライセンスを保有していること。 ※令和8年度に限り、E以上保有。令和9年度以降、D以上保有のこと。	
4	サッカー	△	△	U15チームがクラブユース連盟に加盟していないこと。(クラブユース連盟に所属しているクラブ内からは、U15チーム及びセカンドチームも参加できない)	(公財) 日本サッカー協会への個人登録	(公財) 日本サッカー協会へのチーム登録		●地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチームとする。

競技名	地域クラブ活動の参加 ○参加を認める △条件付きで認める		団体（リレ）出場の条件	協会・連盟登録の義務		指導者の公認資格	その他の条件
	個人	団体		個人	団体		
5	ハンドボール	△		(公財) 日本ハンドボール協会への個人登録	(公財) 日本ハンドボール協会へのチーム登録	以下のいずれかの有資格保有者を必須とする。 ・JSP0コーチ1～4 ・JSP0スタートコーチ ・JSP0スポーツコーチングリーダー ・JHAビギナーコーチ 注1) 上記JSP0資格は「他種目」でも可とする。 注2) 全ての資格において「取得済み」であること。	●地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチームとする。 ※参加地区は、日本ハンドボール協会への登録の際にチームの所在地を入力した場所とする。 ●日本協会が主催する全国クラブ大会および予選大会（地区大会含む）に参加した場合は中学校体育連盟が主催する大会への出場は認めない。
6	軟式野球	△	原則として同一市町村の中学校に在籍する生徒で編成されていること		一般社団法人沖縄県野球連盟への加盟	①日本スポーツ協会公認コーチ1（軟式野球） ②日本スポーツ協会公認コーチ3（軟式野球） ③BFJ 公認野球指導者基I（U-15） ※ 監督の保有を必須とするが、保有していない場合には、コーチが日常的に指導に関わり、メンバー登録される者のうち最低1名の保有を必須とする。	●地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチームとする。 ●選手の引率は監督、コーチ、代表者等3名以内とする。 ●大会運営、審判員派遣の依頼に対応できる人員を確保している。 ●審判員については、「一般財団法人全日本野球協会アマチュア野球規則委員会公認3級審判員」以上の保有を必須とする。
7	体操	○	△ 団体参加の場合は「地域展開モデル地区や自治体主導で地域展開を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域展開の受け皿となっているクラブ活動」又はすべての選手が同一校に在籍していること。 ※詳細は、下記の「補足説明」を参照		各県体操協会への加盟		●地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチーム又は個人とする。 ●各県にブロック大会団体出場枠が複数与えられている場合、少なくとも1枠は学校登録団体とする。学校登録団体がない場合には地域クラブ活動登録団体から補充する。（ブロック大会も同様） ●地域クラブ活動に所属していない同一校の他の生徒が学校で団体を組み大会に参加することができる。ただし、同一校生徒により構成された2つの団体のうち上位団体のみがブロック大会に進むことができる。 ●一緒に活動する団体を複数の地域クラブ活動として各県中体連に登録することはできない。 ●複数の地域クラブ活動が一つの団体として各県中体連に登録することはできない。 ●別の競技で地区大会に出場し、県大会への代表権を獲得していない場合でも、エントリーは認めない。

競技名	地域クラブ活動の参加 ○参加を認める △条件付きで認める		団体（リレ）出場の条件	協会・連盟登録の義務		指導者の公認資格	その他の条件
	個人	団体		個人	団体		
8	新体操 (女子)	○	△	団体参加の場合は「地域展開モデル地区や自治体主体で地域展開を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域展開の受け皿となっているスポーツ団体等」又はすべての選手が同一校に在籍していること。 ※詳細は、下記の「補足説明」を参照	沖縄県体操協会登録	日本体操協会への指導者登録	<ul style="list-style-type: none"> ●地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチーム又は個人とする。 ●監督及び選手は一人につき一所属とする。 ●同所属からのエントリーのみ個人、団体の両方に出場することができる。 ●予選大会の監督は日本体操協会への登録を済ませている者で、他の所属の監督としては予選大会に参加できない。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●団体の出場については、各所属から1チームのみとする。 ●同一中学校からの部活動とクラブチームの2チーム出場は、同じ学校から2チームとみなすことができるため出場は不可とする。 ●別の競技で地区大会に出場し、県大会への代表権を獲得していない場合でも、エントリーは認めない。
	新体操 (男子)	○	○	団体選手は全員が同一学校に在籍しなくてもよいとし、地域クラブ単位の出場が可能。			
9	バレー ボール		△	<ul style="list-style-type: none"> ●所在地が明確であること ●募集要項やホームページ等で公募していること ●日常持続的に（週単位）に練習している場所と所在地が一致していること。 ●中学校の部活動チームが大会に参加する場合、その中学校の生徒のみで編成された地域クラブ活動の参加は認めない。 ●JVA-MRSの「地域クラブ」として登録されたチーム 	個人がJVA-MRSに登録	チームがJVA-MRS「地域クラブ」への登録	<p>JSP0公認指導者資格（成人） R8.4月現在では、バレーボールスタートコーチとバレーボールコーチ1～4を認めているが、令和10年度以降、バレーボールコーチ1～4が必須とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチームとする。 ●六ヶ月以上の活動実績（登録申請日まで）があり、「望ましい運動部活動を目指した活動方針」に準じた活動を行っているチームや団体であること。ただし、教育委員会と連携したチームはその限りではない。 ●チームや団体として規約があること。 ●各種大会に大会役員として派遣できる指導者がいること。 ●全ての選手・スタッフは、県大会予選より全国大会まで、一人同一のチームの登録とし、複数のチームから出場することはできない。 ※これに違反した場合は、「当該選手・スタッフは次年度の大会参加は不可」・「本大会の結果を全て無効とする」等の罰則が発生する。 ●参加する地域クラブ活動から、必ず大会の運営役員を選出すること。 ●地域クラブ活動については、沖縄県中体連が設定した期間の登録申請後の移籍は認めない。但し、一家移転など、やむを得ない場合は、地域クラブ活動を通じて沖縄県バレーボール専門部に申請すること。 ●ユニフォームは、日本中体連バレーボール競技部における「全国大会参加チームのユニフォームの規定について」を厳守すること。
10	ソフトテニス	○	△	地域展開モデル地区や自治体主導で地域展開を進める為に発足した地域クラブ活動、又は地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動とする。 ※詳細は、下記の「補足説明」を参照		日本ソフトテニス連盟・沖縄県ソフトテニス連盟への登録	<p>（公財）日本スポーツ協会公認「コーチ1以上」 自治体主導で発足した地域クラブ活動のみ「スタートコーチ（競技別）」でも可（チームが認定された初年度のみ取得中の場合でも認める） ※ともにベンチ入りする者の資格も同様</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチーム又は個人とする。 ●団体戦と個人戦の出場は、同地区の生徒で編成されたチーム又は個人とする。 ●団体戦と個人戦の出場地区は、生徒の在籍学校の地区からの出場する。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●参加する地域クラブ活動においては、本大会に出場するために設立されたものではなく、「地域」における継続的なスポーツ活動を確保しようとする目的のものであること。

競技名	地域クラブ活動の参加 ○参加を認める △条件付きで認める		団体（リレ）出場の条件	協会・連盟登録の義務		指導者の公認資格	その他の条件
	個人	団体		個人	団体		
11	卓球	○	△	学校に卓球部がなく、団体戦出場登録メンバーが同一学校に所属している地域クラブ活動等は参加可。	日本卓球協会、沖縄県卓球協会、沖縄県中体連への登録及び年会費の支払いを行うこと	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（卓球公認コーチ1以上）を取得していること。 地域クラブに関わる中学校教員は取得していなくても構わない。	<ul style="list-style-type: none"> ●団体：地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦する団体とする。 ●個人：地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦する個人とする。 ※団体戦・個人戦の出場地区は在籍学校の地区から出場する。 ●中体連への登録段階で地域クラブか学校かを選択する。 ●地域クラブ活動の構成員は代表者、事務担当者、指導者、所属中学生とする。所属中学生以外は20歳以上の成人とする。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●代表者、参加要件を満たすために在籍している日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（卓球公認コーチ1以上）及び選手は、他の地域クラブ活動に重複して登録できない。 ●部活動を持っていない中学校教員は地域クラブ活動の代表者、またはコーチとしてクラブに関わり、大会に参加することができる。
12	バドミントン	○	△	同一地区の中学校に在籍する生徒で編成されていること。	日本バドミントン協会・県協会会員登録及び年会費支払いを行うこと。	日本バドミントン協会・沖縄県協会への登録	<ul style="list-style-type: none"> ○日本バドミントン協会公認審判員資格3級以上を取得していること。（取得が困難な場合は、各県の審判講習会に参加すること） ○日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（バドミントン）資格所持者が最低1名は所属していること。 ・短期間で取得が困難な場合は、団体登録後3年以内に取得することを可とする。 ・スポーツコーチングリーダー、他競技のスタートコーチ・指導者資格、スタートコーチ（ジュニア・ユース）も含む。 <ul style="list-style-type: none"> ●地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチーム又は個人とする。 ※個人戦は在籍学校の地区から出場する。 ※団体戦は地域スポーツ団体等の所在する地区から出場する。 ●シングルス、ダブルスを兼ねて出場はできない ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●代表者・事務担当者・指導者は、成人（20歳以上）とする。 ●1つの活動母体から登録できるのは1チームのみとする。

競技名	地域クラブ活動の参加 ○参加を認める △条件付きで認める		団体（リレ）出場の条件	協会・連盟登録の義務		指導者の公認資格	その他の条件
	個人	団体		個人	団体		
13	ソフト ボール	○	○	当該年度の「全日本中学生ソフトボール大会」に出場していないこと（出場の選手・監督・コーチが含まれるチームも不可）	日本ソフトボール協会 チーム登録 ※予選段階で敗退した選手が、別のチームに中途加入して再出場するのを防ぐため、個人名でのチーム登録を進める。	当該年度において(公財)日本ソフトボール協会「中学生種別」に当該チームの監督又はコーチとしての登録が必要（日本ソフトボール協会公認指導者資格を有することが必須）	<ul style="list-style-type: none"> ●「学校部活動から移行した地域部活動」や「休日と平日の扱いが異なるチーム」等については、その事業主体・実施主体や活動状況を県中体連専門部長が判断し、学校部活動として扱うこともできるものとする。その場合は、構成が中体連の学校部活動の合同規程もしくは拠点校部活動の用件を満たしていることとする。 ●三ヶ月以上の活動実績（登録申請日まで）があり、「望ましい運動部活動を目指した活動方針」に準じた活動を行っている団体であること。 ●同一大会で複数のチームの監督・コーチ・引率者等を務めることはできない。 ●別の競技で地区大会に出場し、県大会への代表権を獲得していない場合でも、登録は認めない。 ●以下に該当するチームについても当該年度において日本ソフトボール協会にチーム登録し、大会出場時には登録された指導者資格保持者がベンチ入りすることを条件とする。 <ul style="list-style-type: none"> 1 「地域展開型」地区や自治体主導で地域展開を進めるために発足した地域クラブ活動 2 「地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動」 3 「休日と平日の運営主体が異なり、学校部活動以外で大会に出場するチーム
14	柔道	○	○		チーム、競技者として全日本柔道連盟に「団体登録」「個人登録」を済ませている。届け出をしている所在地の市町村で参加することができる。	大会の引率、監督、帯同コーチは、全日本柔道連盟公認指導者資格（A.B.C指導員いずれか）を有していなければならない。	<ul style="list-style-type: none"> ●地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチーム又は個人とする。 ●柔道修業期間を6か月以上経過した中学生のみ、大会に参加することができる。 ●地域クラブ活動の指導者は、各地区中体連が主催する説明会や研修会等に必ず出席するとともに、大会運営に参加すること。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●大会参加にあたり、上記参加資格特例条件に対して、虚偽、違反、逸脱行為が発覚した場合は、同一年度の地域クラブ活動の大会参加資格を取り消し、チーム及び該当所属選手ともに令和7年度内の参加を認めない。 ●別の競技で地区大会に出場し、県大会への代表権を獲得していない場合でも、登録は認めない。
15	剣道	○	△	団体戦については、以下のとおりとする。 ①自治体主導発足した地域クラブ活動（モデル地区を含む） ②部活動の地域展開を主目的として発足したクラブ活動 ③地域のために日常的に活動が継続されているクラブ活動 上記③は1年以上の活動実績があり、複数学年の生徒が所属していること。かつ、各県中体連専門部が各県中体連登録条件を遵守した団体であると判断したクラブ活動とする。 ※詳細は、下記の「補足説明」を参照	特になし ただし、沖縄県剣道連盟の規程に準ずる。	沖縄県剣道連盟の規程に準ずる。	<ul style="list-style-type: none"> ●地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチーム又は個人とする。 ●所属する地域クラブ活動が登録する所在地の地区中体連の予選会からの参加とする。 ●団体戦・個人戦ともに同一団体からの出場とする。 ●日本中体連の「参加資格の特例及び細則」、並びに各県中体連の加盟条件を遵守した団体であることが前提であるから、これに（学校部活動の意義やマナー等含む）に反する行動が見られた場合は、各県中体連（剣道専門部）の判断で除名することもある。

競技名	地域クラブ活動の参加 ○参加を認める △条件付きで認める		団体（リレ）出場の条件	協会・連盟登録の義務		指導者の公認資格	その他の条件
	個人	団体		個人	団体		
16 相撲	○	○		中央競技団体もしくは各県競技団体に登録			●地域クラブ活動もしくは学校いずれか1つのチームで参加すること。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。
17 空手道	○	○			沖縄県空手道連盟に加盟する団体 〈根拠〉 ①沖縄県スポーツ協会に加盟する空手道団体は「沖縄県空手道連盟」のみである。 ②中体連主催の空手道競技大会は、全日本空手道連盟のルール（競技規定）を採用している。県内で当該競技規定を採用した競技大会を開催しているのは「沖縄県空手道連盟」のみである。	監督は、（公財）全日本空手道連盟に登録している会員であること。	●地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチーム又は個人とする。 ●道場から出場する場合、所属する道場の活動所在地の地区大会から出場可能とする。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●道場から空手道競技に出場する場合、学校から他競技への出場は不可とする。〈例〉空手道競技には道場から出場し、学校からは所属する部活動の他競技に参加する。→二重登録と捉える。
18 テニス	シングルス ○ ダブルス △	△	団体及びダブルスは、登録選手の全員が同一学校に所属していること。		沖縄県テニス協会にチーム名を個人登録		●シングルス・ダブルスを兼ねて出場することはできない。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●中体連主催大会としては九州大会まで。

【補足説明】

- 地域展開モデル地区や自治体主導で地域展開を進めるために発足した地域クラブ活動
⇒運動部活動の地域展開等に関する実践研究・実証事業の対象地区が該当する。ただし、地区は該当していても該当部活動が対象になっていない地区は該当しない。
これとは別に、各市町村が主導で地域展開を進めている場合にも該当する。
- 地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動
⇒単独校での活動が困難であるなどの理由で日常的に活動が持続されており、複数校の生徒が参加する形態で活動している団体を意味する。
あくまで地域展開の受け皿が主目的の団体を対象としているため、複数校から一部の選手のみ選抜された形でのスポーツ団体を意味するものではない。
- 駅伝の「複数の中学校から選手を選抜等によって編成されたチームは除く」の解釈
⇒駅伝について、在籍している学校が単独校で参加する場合や学校に部活動の設置があり単独校でチーム編成ができる場合は、その中学校の生徒を含む地域クラブ活動の駅伝参加は不可となる。
- バスケットボールの「中学校単位」の解釈
⇒地域クラブ活動の場合、中体連主催大会バスケットボール競技大会に参加を希望する中学校の生徒全員が一つの所属先にいることを示している。チームを構成する学校数に制限は設けないが、大会に参加を希望する生徒全員がそのチームに所属していることが条件である。つまり、バスケットボール部がない学校毎に所属する地域クラブ活動を一つにまとめることが必要である。
- 剣道の「複数学年」について
⇒小学生や高校生も含めて、継続して活動している実態がクラブであれば、「地域のために日常的に活動している」と判断できると考えている。